

# Partner

[パートナー]

Vol.11

2023.AUG

— 各診療科の医師が専門分野を伝える —

・整形外科部長・

小林 裕明

変形性膝関節症に対する  
人工関節置換術



・泌尿器科・

吉野 喬之

尿路結石、前立腺肥大症の先進治療  
ECIRS と PUL を導入



KOYAMA MEMORIAL HOSPITAL

## 紹介患者様の受診方法について

小山記念病院では、地域の医療機関との連携を充実するために地域医療連携室を設置しています。地域医療連携室では、他の医療機関からの紹介患者様の対応、または患者様のお住いの近隣の医療機関への逆紹介を行っています。

当院は、外来患者様が多く、待ち時間が長くなるため、紹介状持参患者様については、特に事前予約をお勧めしています。

医療機関より、下記にご連絡いただければ、地域医療連携室にて事前予約をお取りします。

「**受診予約申込書**」と「**診療情報提供書**」(様式は問いません)を事前にFAXをお願いいたします。

《地域医療連携室直通 医療機関専用ダイヤル》  
TEL.0299-85-1133 FAX.0299-88-2211

予約なしで直接ご来院された際は、状況により当日診察をお受けできず、翌日以降のご予約をお取りさせていただく場合があります。

## 紹介状持参患者様 予約取得フロー

- 1 医療機関より地域医療連携室直通ダイヤルに、連絡をお願いします。  

受付時間	月曜日～金曜日	9:00～16:00
	土曜日	9:00～11:00

TEL.0299-85-1133 (地域医療連携室直通)
- 2 受診予約申込書と紹介状をFAXで送信してください。  
**FAX.0299-88-2211** (地域医療連携室直通)  
※ FAX受信は24時間受付可能ですが、受付時間外の場合、予約取得は翌営業日の返信となります。
- 3 ・折り返し地域医療連携室より紹介元医療機関へご連絡をいたします。  
 ・予約を取得し診療予約票をFAXにて送信します。  
(できる限り15分以内にご連絡します)  
※診療科によっては、医師の確認が必要なため時間がかかる場合があります。
- 4 予約日に、診察予約票と紹介状原本をご持参いただき、**11番「紹介状窓口」**にご来院していただきますよう、ご案内をお願いいたします。

緊急の場合は、下記の医療機関専用ダイヤルへご連絡ください。

- ・脳神経外科ホットライン 080-8815-5322 (24時間対応)
- ・循環器科ホットライン 080-1078-6668 (24時間対応)
- ・整形外科ホットライン 080-9159-6089 (月～土/8:00～20:00迄) 日・祝を除く
- ・放射線科 0299-85-1173 (画像検査科直通)\*
- ・上記以外の診療科 0299-85-1133 (地域医療連携室直通)\*

\*月～金/9:00～16:00、土/9:00～11:00 日・祝を除く





・泌尿器科・

## 吉野 喬之

日本泌尿器科学会泌尿器科専門医／同指導医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医

ピックアップドクター

# Pick up Dr.

各診療科の医師が専門分野を伝える



・整形外科部長・

## 小林 裕明

日本整形外科学会 整形外科専門医  
日本整形外科学会認定スポーツ医  
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医



### 変形性膝関節症に対する人工関節置換術

加齢に伴う痛みとして、慢性疼痛には、変形性関節症、関節リウマチ、腰部痛の3つが代表的なものになります。

#### 人工関節手術数が年々増加

変形性関節症とは、軟骨と周囲の組織の損傷を引き起こす慢性疾患で、痛み、関節のこわばり、機能障害を特徴としています。起こりやすい場所として、指の第一関節や親指の付け根の関節、膝、股関節が多いとされており、

当院では変形性膝関節症、変形性股関節症に対して手術を行っています。高齢者が手術の対象となることが多く、超高齢化社会を迎えた本邦では人工関節手術数は年々増加しており、現在人工膝関節手術は、年間約10万件、股関節手術は約7万件程度行われており、10年前と比べ1.5〜2倍程度増加しています。

#### 自分の足で歩いて歩む 人生のために

これらの治療を行っても、症状の改善が見られず、日常生活に支障がある場合、手術療法を勧められています。症状や病状の進行に応じて手術方法も異なりますが、当院では高齢者も多いため人工関節置換術を行っています。手術後の疼痛に関して、神経ブロックや、局所に麻酔薬を注射し、術後の疼痛緩和に工夫をしております。

健康寿命が年々伸びている高齢化社会で、自分の足で歩いて歩む人生を送るため、必要な治療と考えます。歩行障害でお困りの方がおりましたら当院へご紹介いただけたら幸いです。



変形性膝関節症における人工関節置換術

いつも貴重な症例をご紹介いただきありがとうございます。

私は、2023年4月より筑波大学附属病院から小山記念病院の泌尿器科に配属となり、当院の泌尿器科は、常勤医師が3人の体制となりました。さらに、月曜から土曜まで毎日、筑波大学附属病院と国際医療福祉大学成田病院からの非常勤医師の外来も継続しており、外来、手術などご期待に応えるべく体制を強化しています。

#### 治療効果と安全性を高める 「ECIRS」

尿路結石については、体外衝撃波（ESWL）と内視鏡手術（TUL・経尿道、PNL：経皮）を従来から行っています。

常勤医が増えたことから、特に大きな腎結石については、治療効果と安全性を高めるため経皮的＋経尿道的碎石術を同時に行うECIRSを

### 尿路結石、前立腺肥大症の先進治療 ECIRSとPULLを導入

導入しました。これまで数回の治療が必要であったような腎結石に対する治療回数の減少、術後の腎盂腎炎といった合併症の軽減が期待されます。

#### 前立腺肥大症の低侵襲手術 「PULL／ウロリフト」

前立腺肥大症の手術療法については、経尿道的前立腺切除術（TURP）、経尿道的前立腺核出術（TUEB）という従来の手術法に加え、経尿道的前立腺吊り上げ術（PULL／ウロリフト）を昨年度導入しました。PULLは2022年4月に保険収載されましたが、海外ではすでに広く行われている低侵襲手術で、当院では1泊2日で行っています。

経尿道的にインプラントで前立腺を吊り上げて尿道を広げることで症状の改善、尿道カテーテルからの離脱が期待できます。性機能の温存が

できることと、抗血小板薬・抗凝固薬の内服があるような高齢の患者さんでも手術が可能というのが大きなメリットと考えています。

#### 腹腔鏡手術や単孔式手術も積極的に実施

前立腺がんについては、麻酔下の前立腺生検を積極的に行っております。局所治療（放射線、手術）の適応があれば、近隣の高次機能病院と連携して治療をしています。転移を有する前立腺がんであっても近年多くの薬物療法が登場し治療成績が向上しており、当院でも治療が可能です。

私は、腹腔鏡技術認定医であり、これまで筑波大学から医師を招聘して行ってきた副腎腫瘍、腎、尿管の悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術の他、傷の少ない尿管遺残に対する単孔式手術も積極的にこなしていきます。